

久留米大学では、他施設と共同で実施する下記研究のために、受診時に患者さんから取得された診療情報等を共同研究機関に提供しています。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】術後再建腸管症例に対するショートタイプシングルバルーン内視鏡(Short-SBE)を用いた ERCP 関連手技の後ろ向き多施設共同研究

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者（情報の管理責任者）】

研究代表機関（研究代表者）：埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科 良沢昭銘

診療情報等の提供先：埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科

【研究分担施設・研究責任者】

- ・久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門 准教授 岡部義信
- ・東京医科大学消化器内科 教授 糸井隆夫
- ・手稲溪仁会病院消化器病センター センター長 瀧沼朗生
- ・北里大学消化器内科 教授 木田光弘
- ・獨協医科大学消化器内科 教授 入澤篤志
- ・聖マリアンナ医科大学消化器内科 肝臓内科医長 中原一有
- ・慶應義塾大学消化器内科 専任講師 岩崎栄典

【診療情報の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間：2011年9月1日から2019年8月31日までの間に受診
- 2) 受診科：久留米大学消化器内科および共同研究機関の各診療科
- 3) 対象疾患名：術後再建腸管症例で Short-SBE 下 ERCP を行った患者さん

【診療情報等の項目】

診療情報等：【年齢、性別、病歴、既往歴、治療歴、血液検査データ、画像データ】

授受の方法：郵送・宅配 電子的配信 直接手渡し その他（ ）

【研究目的】

術後再建腸管症例に対するショートタイプシングルバルーン内視鏡(Short-SBE)を用いた ERCP 関連手技の有用性に関する検討を行うことが目的である。

【研究（利用）期間】久留米大学倫理委員会承認後から2021年3月31日まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

【問い合わせ先】

（本学）研究責任者 兼 問い合わせ担当者：

久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門 准教授 岡部義信

電話：0942-31-7561

研究番号 19226